

8 市庁舎建設プロジェクト

プロジェクトの概要

現在の市庁舎の課題である、施設の老朽化や狭隘さ、窓口や執務室の分散、耐震強度の不足などの問題点を、補強・改修により解決することは困難です。

これらの問題を解決するため、これまでに市議会での市庁舎建設特別委員会や市庁舎建替に関する市民懇話会、更には市民アンケートによりいただいたご意見を踏まえて、平成23年2月に市庁舎を建て替えることについて、平成25年1月には、建替え場所を公会堂及び公会堂前公園敷地とすることなどを決定し、表明しています。

平成25年度には、新庁舎建設基本計画の策定にあたり設置した「長崎市新庁舎建設基本計画検討市民会議」や市議会における「市庁舎・支所機能再編検討特別委員会」からのご意見を踏まえ、基本計画を策定しました。

そこで、このプロジェクトでは、耐震性能の確保、バリアフリーや地球環境への配慮など、今の時代に求められる機能はもちろん、市役所をもっと身近に感じてもらうことができ、市民の交流の場や安全安心の拠り所となるとともに、まちのシンボルとして、未永く市民に愛される市役所になることをめざし、新たな市庁舎の早期完成に向けた取組みを進めていきます。

目的 (ゴール)

何を(対象)

どういう状態にしたいのか(意図)

現市庁舎

市民が利用しやすい機能を有する新市庁舎への建替えを行う。

これまでの成果

市議会特別委員会や市民懇話会等における議論、意見を踏まえながら、建替え場所を決定するとともに、平成26年2月に今後の新市庁舎の設計に向けた具体的な方針等を示す基本計画を策定し、その後の社会情勢の変化等を踏まえ、平成28年11月に内容を一部改定した。

平成28年11月の市議会定例会において、「長崎市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」及び基本設計等の関連予算が可決された。

予算成立後、「長崎市プロポーザル方式による長崎市新庁舎建設基本設計委託業務受注者選定審査会」を設置し、当該審査会による選定審査を経て、平成29年6月に受注者を決定し基本設計業務に着手した。

市民や学生を対象としたワークショップを開催して様々なご意見をいただき、その内容を反映させながら基本設計業務を進めることができた。

これまでの課題

事業の着手時期や全体的なスケジュール、新市庁舎の具体的なイメージを、市民や市議会に明確に示すことができていなかった。

公共交通の円滑な運行による利便性の向上と併せ、周辺道路における車両と歩行者の安全な動線を確保するため、交通事業者及び交通管理者との協議を進めていく必要がある。

平成30年度 of 取組方針・主な取組み

取組方針

基本設計に引き続き、市民や市議会のご意見を参考にしながら実施設計を策定します。

また、周辺道路における具体的な交通対策の検討及び関係機関との協議を進め、事業の円滑な進捗に努めていきます。

主な取組み

- 新市庁舎の実施設計、執務空間等整備計画の策定及び必要な各種調査を実施し、着実に事業を推進します。
(実施内容)
 - ・実施設計
 - ・埋蔵文化財調査
 - ・執務空間等整備計画の策定
- 平成29年度に策定する新市庁舎の基本設計を基に、建設工事の発注に向けた実施設計を行います。
- 新市庁舎の設計業務と並行して、執務空間等に関する整備計画を策定します。
- 新市庁舎建設事業の進捗状況について、市ホームページや広報紙等により、市民に随時お知らせします。

関連事業	【補助】新市庁舎建設事業費（新市庁舎建設設計等）	129,120 千円
	【補助】新市庁舎建設事業費（新市庁舎建設工事等）	318,000 千円
	事業費総額	447,120 千円